

**minami
shinshu**
ニッポンの日本。

すきです

南信州

人の熱意で地域が活きる!

—長野県 南信州地域づくり大賞—

飯田下伊那地域が、少子高齢化や経済の低迷といった厳しい環境に直面していることをものともせず、創意工夫しながら懸命に地域を盛り上げようと活動する方々が表彰されました。

3つの部門ごとに、大賞(知事賞)、特別賞(峰竜太賞)、奨励賞(下伊那地方事務所長賞)のほか、今回から新たに「若者地域づくり賞」が表彰され、地域づくりの気運が若い世代にも広がることを期待します。



次期ごみ処理(焼却)施設整備に向けて	2~3
リニア中央新幹線	4
南信州広域連合議会 第2回定例会	5
平成22年度決算	5
職員の給与等をお知らせします	6
桐林リサイクルセンター	7
南信州いいむす21	7
東日本大震災から学ぶ	8
飯伊地区 医療職(医師・看護職等) 合同就職ガイダンス	8

圏域内の人口・世帯数
(2012.2)

人口 167,943人
世帯 58,702戸

次期ごみ処理（焼却）施設整備に向けて 全体構想作成

広域連合が整備するごみ処理施設の全体構想

次期ごみ処理施設の整備に関する具体的な検討を進めていくために、ごみ処理施設の全体像と検討すべき課題を整理するとともに、協定を尊重して進めることを前提としつつ、当圏域の今後のごみ処理のあり方を明確にしたものです。

検討の前提となる事項

- 1 現施設の建設及び運転のための地元地区と取り交わされた協定における次期ごみ処理施設に関する項目を尊重して進めること
- 2 安全で安定した施設の運転が確保され、環境基準が確実にクリアされることを基本として、環境に配慮した循環型社会の形成、温室効果ガス(CO²)排出量の削減、少子高齢社会への対応など持続可能な社会に向けた要請に応えること
- 3 当圏域の経済状況および市町村の厳しい財政状況を踏まえ、住民や市町村のごみ処理にかかる費用負担を軽減すること

ごみ処理施設のめざす姿

- 1 循環型社会形成推進基本法をはじめ関係法令の趣旨に沿って、ごみの減量化や分別、再生利用に引き続き取り組む
- 2 ごみの域内処理完結を目指し、長期にわたって安全で安定的に処理できる施設とする
- 3 環境学習や再生利用の拠点としての機能も併せ持つ環境公園としての整備を目指す
- 4 化石燃料の消費を抑制し、高効率発電など熱エネルギーの有効利用、回収を目指しプラスチック類を焼却できる施設とする
- 5 生ごみ処理における資源の有効利用のため、バイオガス化など高効率利用を目指す

これからの進め方

この構想に基づいて、この地域のごみ処理のあり方(分別方法や収集方法など)を検討し、社会情勢に適応した処理方法、次期ごみ処理施設の規模などを広域連合会議(市町村長の会議)、広域連合議会、ごみ処理施設建設検討委員会で検討していきます。

一部地元新聞で誤った報道がされましたが、今後も正確な情報を皆さんにお伝えしていくよう心掛けてまいります。

次期施設に係わる地元との協定の内容

桐林クリーンセンターは、平成14年12月運転開始、現在まで皆様のご理解のもと安全に運転を続けています。

竜丘地区には、既に稼動していた施設に引き続き焼却施設を受け入れていただいたものです。この当時はダイオキシンが大きな社会問題となっておりますが、こうした状況の中で結ばれた現施設の運転における地元地区との協定では「運転開始後2017年11月末までに移転すること」、また「運転開始後10年をめぐりに移転先を含め協議すること」となっています。

ごみ処理施設建設検討委員会

次期ごみ処理施設建設のための諮問機関である「ごみ処理施設建設検討委員会」については、平成23年5月議会において設置条例を制定し、平成23年7月から設置し検討に入っています。

検討委員会は、住民代表、学識経験者、広域連合議会議員、地方事務所、構成各市町村の担当職員で構成され、次期ごみ処理施設について、施設の規模や処理の方式の評価、用地の選定に係わる評価基準や比較を行っています。検討の結果については、広域連合長に答申され広域連合会議、広域連合議会を経て最終的に決定されます。

整備事業費の試算

仮に現在の施設を改修して10年延命し、その後に新設し稼動する場合の事業費と、新たに建設し稼動する場合の事業費を比較したものです。建設費用だけでなく運転期間中の維持費まで含めて考える必要があり、最新の技術を取り入れできるだけ早く新しく建設した方がトータルコストは少なくなります。

改修または新設による向こう30年間の事業費の額(単位:億円)

現施設改修	改修費 28.8	改修後の運転費 68.8	新設費 67.6	新設後の運転費 68.9	総額 234.1
-------	-------------	-----------------	-------------	-----------------	-------------

新設	新設費 67.6	新設後の運転費 86.1	改修費 2.6	運転費 25.8	総額 182.1
----	-------------	-----------------	------------	-------------	-------------

※改修、新設ともその間の現施設の運転維持費 29.6億円がかかります。

リニア中央新幹線 環境影響評価調査開始へ

中央新幹線は、環境影響評価方法書が公表され、JR東海による説明会が開催されました。参加者からは、地域振興など事業に期待する意見が挙げられる一方、環境影響への意見も多く挙げられました。今後は方法書に対する知事の意見を踏まえ、環境影響調査が進められます。

当地域は、豊かな自然環境と、営みの中で培われた歴史や伝統文化など、守るべきものは守り、備えるべきものは備えつつ、リニア将来ビジョンに掲げた地域の将来像実現のため一丸となって取り組めます。

環境影響調査手続きが 進められています

昨年11月30日、JR東海は環境影響評価法に基づき、環境影響評価方法書〔長野県（以下、方法書）に対し寄せられた意見の概要をまとめ、知事に送付しました。知事はこれを受理した日から90日以内に、JR東海に対し書面にて意見を述べることとなっています。関係市町村は、知事に対し環境保全の見地からの意見を提出しました。知事はこれらの意見と、県環境影響評価技術委員会において集約された意見を勘案し、2月24日にJR東海に意見を提出しました。

リニア期成同盟会定期総会 地域一丸で取り組む方針を決議

12月19日、リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会の定期総会が開催されました。

会議では、平成23年度の事業や収支決算、規約改正、平成24年度の事業計画、予算等について審議したほか、総会決議が全会一致で採択され、地域一丸となって取り組むことが確認されました。

総会に合わせ、不動産鑑定士の寺沢秀文氏を講師に「リニア中央新幹線を見据えた地域づくり〜高速交通網と地価の動きから〜」と題する、講演がありました。

最近開通した東北新幹線の駅周辺の整備状況、地価動向や、当地域との比較検討など、不動産鑑定士の視点から、参考になる講演をいただきました。

県新総合交通ビジョン策定へ

県は、リニアの開業を広く地域活性化、交通ネットワークの充実・強化につなげるとともに、地域公共交通の維持・確保に努めつつ、新たな展開を図るため、平成25年度から15年程度の交通施策の方向性を示すものとして、「長野県新総合交通ビジョン」の策定に着手しました。

このビジョンに飯伊地域の意見を反映させるため、2月9日に県総合交通ビジョン検討委員会による現地視察と、飯伊地区の市町村長との意見交換会が開催されました。

会議では、冒頭に牧野広域連合長からこれまでの地域の取り組みについて紹介があり、各市町村長より中間駅へのアクセス整備や、リニアを見据えた地域づくりへの要望、環境への配慮を求める意見が出されました。検討委員会の委員からは、「飯伊地域は広域連合を中心に一致協力して取り組まれていることがわかった。当地の特性や潜在する可能性を活かした取り組みを進めるべき」との意見がありました。

県は今後も検討委員会による協議を重ね、平成25年度中にビジョンを策定する予定です。

JR東海による中間駅の 建設費負担について

今後、方法書に基づき各種環境影響調査が進められます。

JR東海は11月21日、中間駅の建設費について従来の地元負担の方針を転換し、自己負担で整備することを表明しました。リニアの実現に向け大きな前進となりましたが、具体的に必要になる駅の機能が明確でないことや、地元自治体に求める役割も示されており、今後の協議が必要です。

〔総会決議〕

- 東海旅客鉄道株式会社との協議で確認された事項の実現に向け取り組むとともに、リニア中央新幹線の早期開通をめざす。
- リニア将来ビジョンに掲げられた地域の将来像実現に向けて、構成団体が役割を担いつつ戦略的地域づくりを推進する。



平成23年 南信州広域連合議会 第2回定例会

平成23年11月25日(金) 飯田広域消防本部 3階大会議室

平成22年度 各会計決算が認定されました

平成23年第2回定例会が1日間の会期で開催されました。

提出議案は報告案件2件、予算案件1件、決算案件4件、議会案件1件で、全て原案どおり承認・可決・認定されました。

議案の内容

- 報告案件 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて(損害賠償額を定めることについて)
- 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて(損害賠償額を定めることについて)
- 予算案件 議案第16号 平成23年度南信州広域連合一般会計補正予算(第2号)案
- 決算案件 議案第17号 平成22年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第18号 平成22年度南信州広域連合南信州広域振興基金特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第19号 平成22年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第20号 平成22年度南信州広域連合阿南学園特別会計歳入歳出決算認定について
- 議会案件 議会議案第2号 広域連合長において専決処分することができる事項の指定について

協議・報告事項

1. 検討委員の指名
2. リニア中央新幹線について
3. 飯田工業・飯田長姫統合校の建設工事進捗状況について
4. 新たなごみ処理施設の整備について
5. 満蒙開拓平和記念館建設への支援について
6. 南信州地域の公共交通の上半期実績報告と第2次実施計画の策定について
7. 平成23年度議会日程について

全員協議会



平成22年度 各会計歳入歳出決算額

単位：千円

区分	歳入	歳出	差引	前年度 差引	前年度 比較
一般会計	2,015,401	1,953,626	61,775	72,208	△10,433
広域振興基金	28,907	21,350	7,557	11,096	△3,539
広域消防	2,050,894	2,019,100	31,794	44,611	△12,817
阿南学園	595,725	558,696	37,029	44,420	△7,391
計	4,690,927	4,552,772	138,155	172,335	△34,180

主な事業内容

【一般会計】

- ・リニア中央新幹線飯田駅設置推進基金(20,000千円)
- ・阿南学園施設整備基金(169,663千円)
- ・介護認定審査運営(47,906千円)
- ・桐林リサイクルセンター整備事業(92,567千円)
- ・ごみ処理事業(534,794千円)
- ・し尿処理施設改修事業(247,909千円)
- ・地方債償還(368,806千円)

【飯田広域消防特別会計】

- ・職員研修(14,063千円)
- ・職員出向、派遣(4,321千円)
- ・消防車両、資機材維持経費(29,289千円)
- ・消防庁舎等施設整備(4,650千円)
- ・消防車両整備(37,907千円)
- ・地方債償還(23,969千円)

【広域振興基金特別会計】

- ・名古屋市覚王山アンテナショップ管理運営(5,320千円)
- ・三遠南信連携事業(2,700千円)
- ・信州デスティネーションキャンペーン(2,120千円)

【阿南学園特別会計】

- ・施設運営管理及び入所者援助(322,435千円)
- ・グループホーム入居者生活支援(6,598千円)
- ・財政調整基金取崩、一般会計繰出(229,663千円)

職員の給与等をお知らせします

1 採用・退職の状況

	一般行政職	消防職	看護職	福祉職	合計
退職 (H22.4.1~H23.3.31)	4人	2人	1人	13人	20人
採用 (H22.4.2~H23.4.1)	0人	3人	0人	0人	3人

※一般行政職：事務職、技師（ごみ処理、し尿処理）を含む

2 職員数の状況（部門別職員数の推移 各年4月1日現在）

部門	平成22年	平成23年	対前年増減数	主な増減理由
総務	7人	7人	0人	
民生	21人	3人	△18人	阿南学園が指定管理に移行したため
衛生	9人	10人	1人	新焼却場施設整備のため
消防	215人	216人	1人	消火力増強のため
計	252人	236人	△16人	

3 職員給与の状況（各年度普通会計決算）

	職員数 (A)	職員給与費				一人当たり給与費 (B/A)
		給料 (基本給)	諸手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
平成22年度	252人	931,219千円	177,480千円	330,724千円	1,439,423千円	5,712千円
平成21年度	256人	945,431千円	188,648千円	338,980千円	1,473,059千円	5,754千円

※職員数は各年度4月1日現在。諸手当は、扶養手当、通勤手当、時間外勤務手当などで、子ども手当・退職手当は含みません。

4 勤務時間・休日の状況

1週間の勤務時間	1日の勤務時間の割り振り			週休日・休日
	始業時刻	終業時刻	休憩時間	
38時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時～午後1時	週休日：土曜日・日曜日 休日：祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

※業務内容により、上記の勤務時間によらない職場や交代制勤務職場などでは、別に勤務時間を定めています。

5 休暇・休業の状況

休暇等の種類	概要・付与日数等	取得状況等
年次休暇（有給）	1年につき20日付与 ※翌年に繰越可能（最大20日）	平均取得日数 4.5日 (H22.1.1~H22.12.31)
療養休暇（有給）	負傷又は疾病のため、療養する必要がある場合に認められる。療養に要する期間を付与（最大90日～180日）	延べ 43人 (H22.4.1~H23.3.31)
特別休暇（有給）	結婚、産前産後、忌引など特別な事由がある場合に認められる。（休暇の種類により異なる期間を付与）	延べ 97人 (H22.4.1~H23.3.31)
介護休暇（無給）	日常生活に支障がある特定の家族を介護する場合に認められる。（連続する6月の期間内で必要と認める期間を付与）	0人 (H22.4.1~H23.3.31)
育児休業（無給）	3歳に満たない子を養育する場合に承認される。	0人 (H22.4.1~H23.3.31)

6 分限処分・懲戒処分等の状況 … 平成22年度においては、分限処分・懲戒処分等は0件です。

7 サービスの状況 … 地方公務員法に定められた職務専念義務、信用失墜行為の禁止、守秘義務、政治的行為の制限、争議行為等の禁止、営利企業等への従事制限といった義務に対する違反は、平成22年度は0件です。

8 研修及び勤務成績の評定の状況

●職員研修の状況（平成22年度） 決算額 11,967千円

種別	延べ参加者数	
一般研修	56人	
消防関係	県消防学校	39人
	救急救命士研修所	2人
	安全運転中央研修所	1人
	その他（救急・救助研修）	16人

●勤務成績の評定の状況（H22.4.1現在の制度）

評定の種類	実施時期	被評定者
昇給に係る人事評価	年1回（12月）	全職員
目標管理の成果確認及び勤務実績評価	年2回（9月、3月）	
昇任に係る人事評価	年2回（6月、11月）	該当職員

9 福祉及び利益の保護の状況

●福利厚生制度の状況（平成22年度） 決算額 2,723千円

職員の健康管理	受診者
人間ドック（強制・任意）	141人
定期健康診断（臨時職員含む）	130人
生活習慣病予防健診	5人
婦人科健診	1人
特定業務健康診断	192人

●職員共済会への補助（平成22年度） 決算額 2,620千円

広域連合が事業主として行う厚生事業の一部を、条例に基づく職員の互助組織（飯田市職員共済会）に実施させており、この費用の一部を補助しています。

●公務災害の状況

公務災害補償の請求件数（平成22年度）	0件
---------------------	----

10 公平委員会の報告事項

職員から公平委員会に対し、勤務条件に対する措置要求や不利益処分に対する不服申立ては、平成22年度においてはありませんでした。

桐林リサイクルセンター よみがえ あなたの不要品が、お宝になって蘇る

— 制服(学生服)、学習机等のご提供・ご用命はありませんか…そして子供服も —

卒業・入学の時期が到来します。それに伴い制服(学生服)、学習机等について不要・必要な方が出て来ます。まだ使えそう(価値の残っている)と思われるこれらの物(リユース品)のご提供をお願いします。そして必要な方、是非お越し下さい。

また成長の著しい子供たちの衣類については、調達がなかなか大変ですが、リサイクルセンターに豊富に集まって来ていますので、一度お出掛けいただき手にとってみて掘り出し物を是非見つけて下さい。

さらにご提供をお願いします。

子供服



学習机



学生服



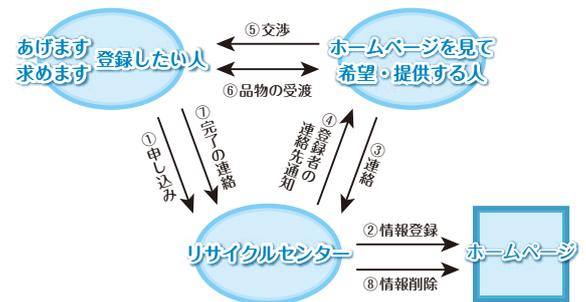
桐林リサイクルセンターは、ごみの減量を目的にリユースによる資源の有効活用を目指しているセンターですが、開館以来10ヶ月を経過しました。受入れが170件3701点、展示後の引渡ししが405件1340点ご利用いただいています。

○リユース品の取り扱いは下記のとおり

種別	取り扱う物 (燃やすごみに該当する)	取り扱わない物	料金 (持込む人が払う)
衣類 (クリーニング済のもの)	子供服、制服、 マタニティー服	左記以外のもの (下着、パジャマ、水着、 帽子、靴下、小物等)	無料
本	小説、趣味・娯楽な どの単行本、絵本	左記以外のもの (雑誌、漫画本、図鑑、 辞書、社会通念上不適 切な書籍等)	
木製家具	タンス、椅子、学習机、 カラーボックス、座卓、 こたつ板、本棚等	左記以外のもの (材質がプラスチック製等)	三辺の長さの 合計 11個 300円 ~2400円
木製生活 用品雑貨 (未使用のもの)	お椀、お盆、菓子鉢、 茶托等日用品	左記以外のもの (材質がプラスチック製等)	300円/ 10kg当たり

リユースデータバンクもご利用ください ~左表以外の不要品のあっせん~

不要品を譲りたい方《あげます》、探している方《求めます》の個人取引に情報を提供する場です。ホームページ上でご覧いただけます。ご活用下さい。無料です。



お問い合わせ

桐林リサイクルセンター(桐林クリーンセンター隣接) 休館日: 月曜日・祝日
TEL.0265-26-1050 FAX.0265-26-1051 ホームページ <http://www.kiri-rc.com/>

~南信州いいむす21~

地域ぐるみで環境改善活動に取り組もう!

南信州いいむす21とは、南信州地域で21世紀に展開する環境マネジメントシステム (Environmental Management System=EMS=いいむす) です。

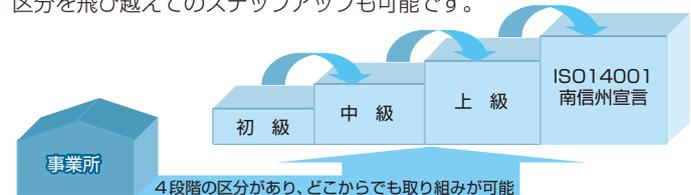
南信州地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」は、環境改善活動に取り組んでいる事業所を認証する制度です。南信州地域内の様々な事業所が取り組みやすいように4つのステップ区分を設けてあり、現在62の事業所が認証登録されています。

南信州いいむす21は、単に環境保全の取り組みを行うだけでなく、事業所の取り組みから従業員の家族へ、そして地域の取り組みへと、地域ぐるみの活動に広げることも目的としています。

環境保全への取り組みが南信州地域全体に広がりますよう、多くの事業所が「南信州いいむす21」に取り組んでいただくようお願いします。

ステップ区分

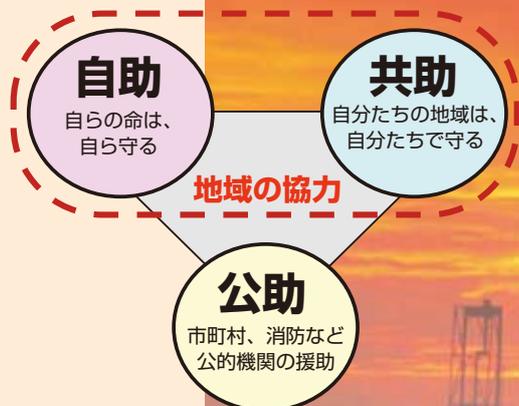
事業所の実情に合わせて、どの区分からでも取り組むことができます。区分を飛び越えてのステップアップも可能です。



詳しい内容 お問い合わせ 南信州広域連合ホームページ <http://mi7mi.org/>
南信州広域連合事務局 TEL.0265-53-7100

3.11 東日本大震災から学ぶ

～今と未来に備える～



大災害のとき、自分の身を自分の努力によって守る(自助)とともに、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が互いに助け合うこと(共助)が重要となります。

あわせて、市町村や消防機関などと連携して、救助や援助の手が、私たち一人ひとりのところに届くよう、みんなで力を合わせれば、被害を減らすことができます。

けがをした人を手当すること、動けなくなった人を助けること、それらを行う主役は、自分であり地域の人々です。

日頃の備え ～自助～

消防署では、東日本大震災への出動経験から、自主防災組織、消防団や企業など3,500人余の方に、被災地の状況や日頃の備えなどの講演会を行ってきています。



熱心に聞きいる聴講者

地域の防災力を高める ～共助～

消防団と消防署は、大きな地震による揺れがあった際に、家の中にどんな危険が起こるかを想像し、家具の固定や配置を工夫することや、倒壊した家屋の下敷きになっている人を身近な道具で助け出す方法など、実践を交えた訓練を行っています。



倒壊家屋から車両用ジャッキを使った救出

飯伊地区 医療職(医師・看護職等) 合同就職ガイダンス

● 期 日：平成24年4月28日(土) ● 時 間：午後2時～午後4時

● 場 所：飯田女子短期大学 ちいきこうるかん 地域響流館 (飯田市松尾代田610 TEL.0265-22-4460)



参加対象者

- ①求職者側
飯伊地区で医療機関への就職に関心をお持ちの学生・中高生及びその保護者、復職希望者、大学・高校・中学校の進路指導担当者及び職場体験担当者
- ②医療機関側
平成25年度に医師又は看護職等医療職を求人する予定の飯伊地区の病院又は診療所

内 容

- 医療機関ごとのブースでのガイダンス
- 研修医と看護師による相談ブース
- 健康チェックコーナー(無料)
- 体験コーナー BLS(一次救命処置)体験

その他

- 事前予約不要
- 求職者・医療機関側とも参加費無料

お問い合わせ先：飯伊地区包括医療協議会 (TEL 0265-23-3636)